

(7) 婚姻

婚姻件数は28,823組で、前年より478組増加した。

婚姻率は人口千人に対し4.0で、前年と同率であった。全国は前年と同率で、4.1であった。(表-26)

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年に上昇に転じたものの、平成5年を境として再び低下傾向である。

(図-23)

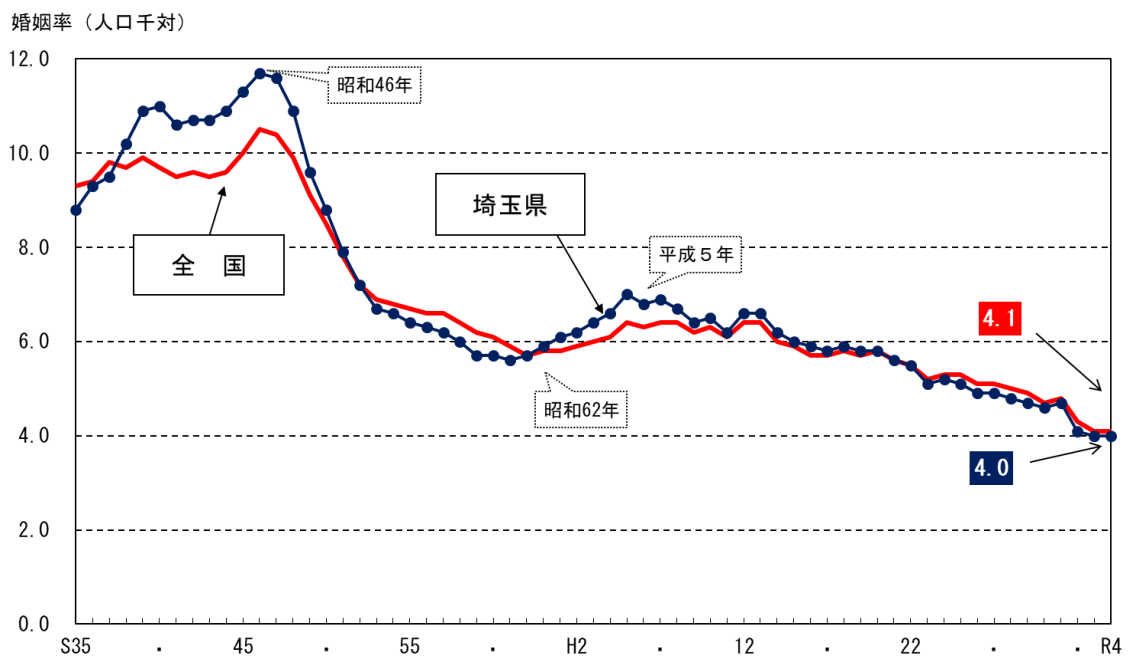
表-26 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234	46 224
	全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138	791 888
率	埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2	6.9
	全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9	6.4

		12	17	22	27	R元	2	R3	R4
数	埼玉県	45 636	40 486	39 160	34 757	33 671	29 260	28 345	28 823
	全国	798 138	714 265	700 222	635 225	599 007	525 507	501 138	504 930
率	埼玉県	6.6	5.8	5.5	4.9	4.7	4.1	4.0	4.0
	全国	6.4	5.7	5.5	5.1	4.8	4.3	4.1	4.1

注：率は人口千対である。

図-23 婚姻率の年次推移（埼玉県・全国）



平均初婚年齢は、夫31.6歳、妻29.9歳で、前年と比べると夫は0.2歳、妻は0.3歳上昇した。全国は、夫31.1歳、妻29.7歳で、前年と比べると夫は0.1歳、妻は0.2歳上昇した。

(表-27)

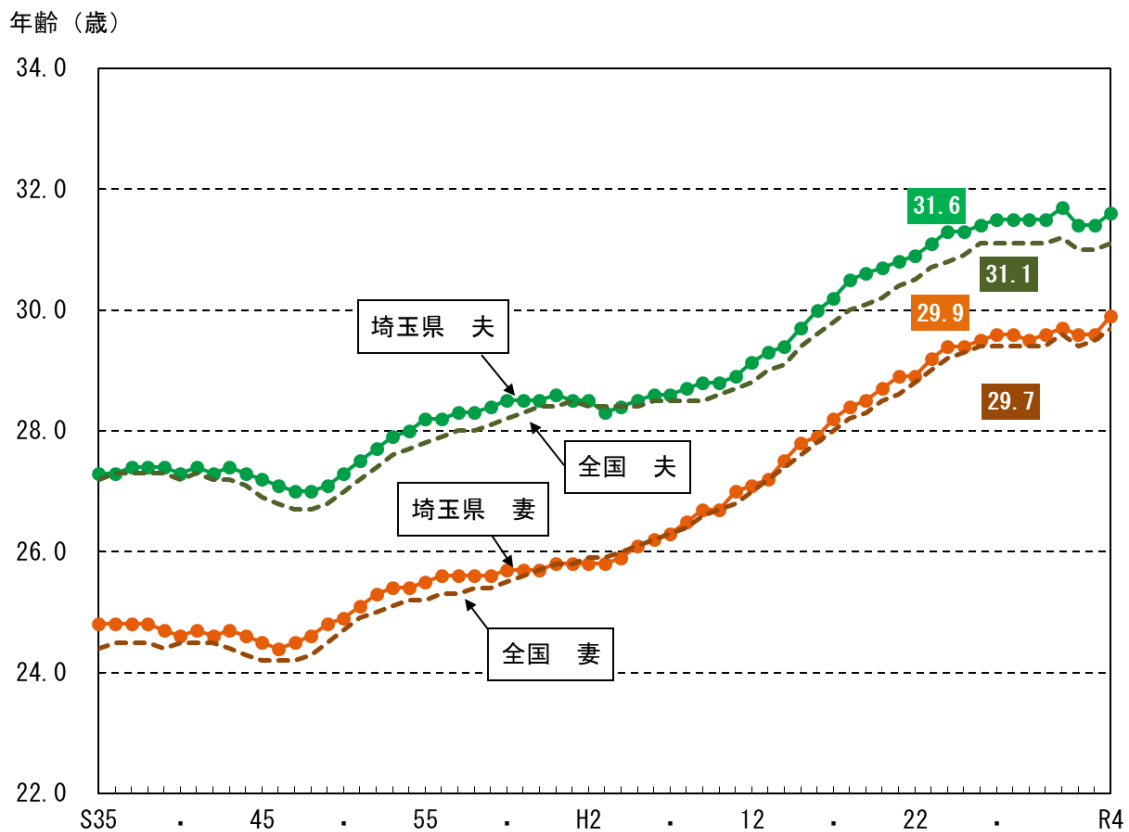
年次推移をみると、埼玉県、全国ともに、近年横ばいの状況が続いている

表-27 平均初婚年齢の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	27	2	3	4	
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.9	31.5	31.4	31.4	31.6
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.5	31.1	31.0	31.0	31.1
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.9	29.6	29.6	29.6	29.9
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.8	29.4	29.4	29.5	29.7

注：各届出年に結婚生活に入ったものにより算出している。

図-24 平均初婚年齢の年次推移（埼玉県・全国）



(8) 離婚

離婚件数は10,259組で、前年より367組減少した。

離婚率は人口千人に対し1.44で、前年と比べて0.05ポイント低下した。全国は前年より0.03ポイント低下し1.47であった。（表-28）

離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降一旦低下した後、平成元年から上昇に転じた。平成13年にピークとなった後は減少傾向にある。（図-25）

表-28 離婚件数及び離婚率の年次推移

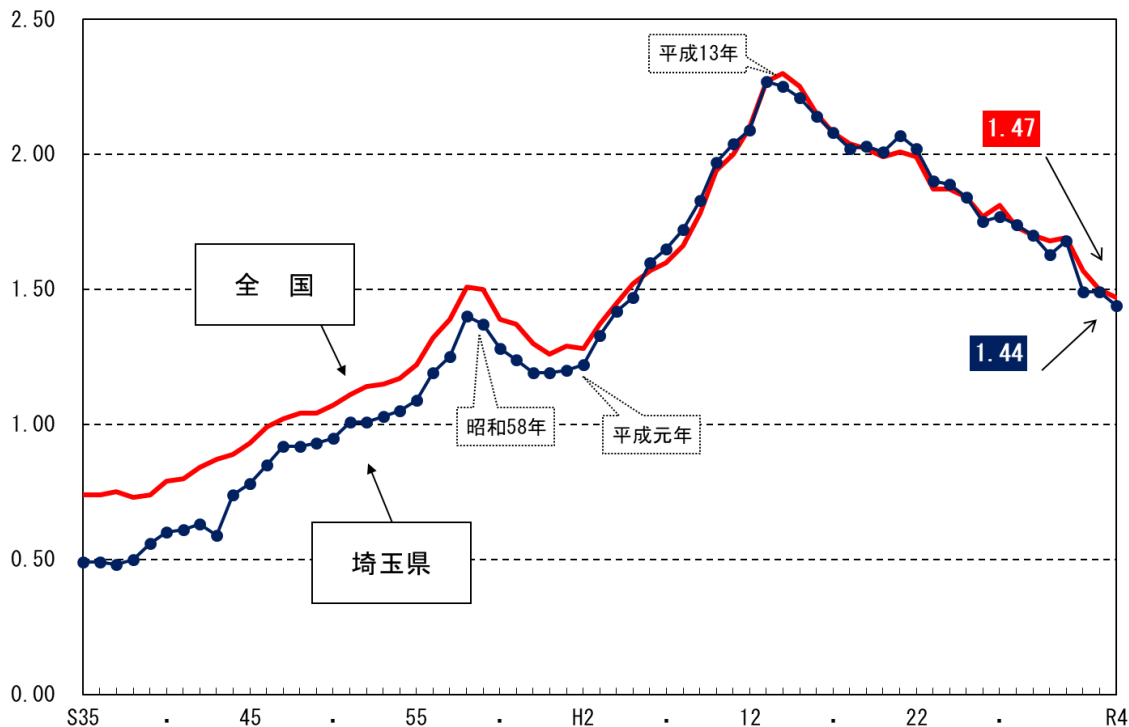
		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775	11 062
	全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608	199 016
率	埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.28	1.22	1.65
	全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28	1.60

		12	17	22	27	R元	2	3	4
数	埼玉県	14 368	14 521	12 484	12 667	12 067	10 659	10 626	10 259
	全国	264 246	261 917	222 115	226 238	208 496	193 253	184 384	179 099
率	埼玉県	2.09	2.08	1.75	1.77	1.68	1.49	1.49	1.44
	全国	2.10	2.08	1.77	1.81	1.69	1.57	1.50	1.47

注：率は人口千対である。

図-25 離婚率の年次推移（埼玉県・全国）

離婚率(人口千対)



(9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は1.17で、前年の1.22より0.05ポイント低下した。全国は前年より0.04ポイント低下し1.26であった。

年齢階級別では30～34歳が最も高く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。（表-29、図-26）

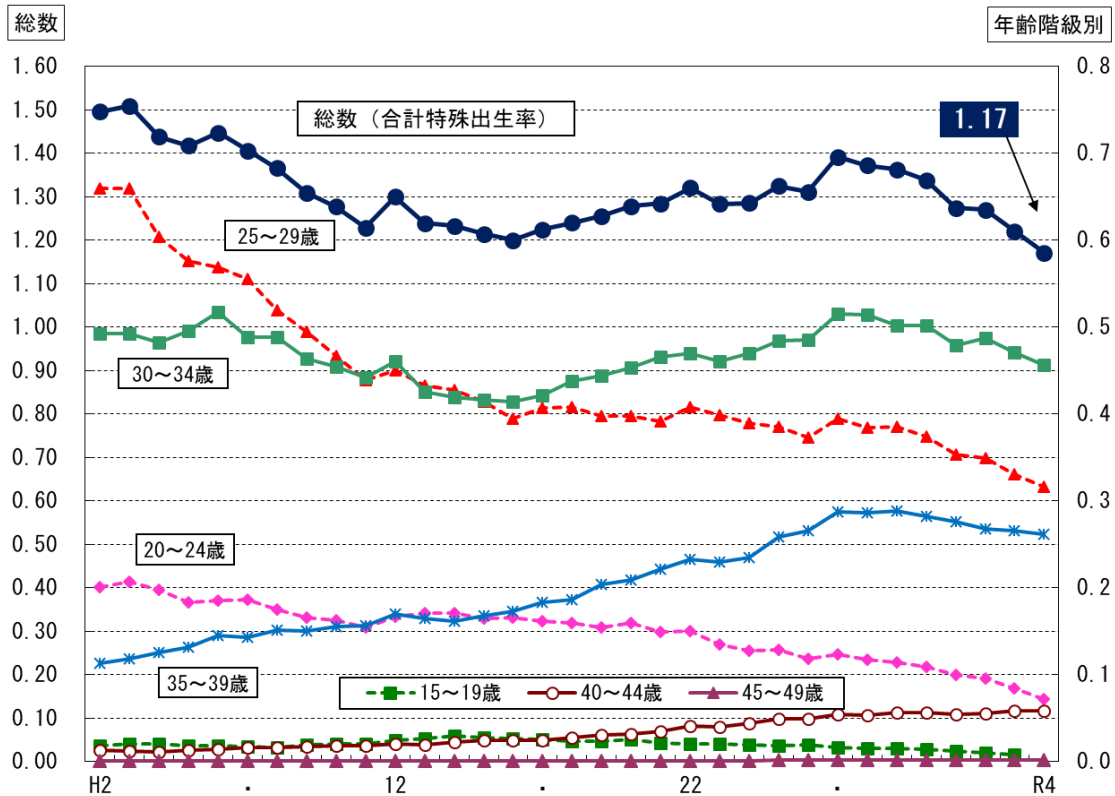
表-29 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		H2	7	12	17	22	27	2	3	4
埼玉県	総数 (合計特殊出生率)	1.50	1.41	1.30	1.22	1.32	1.39	1.27	1.22	1.17
	15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.0255	0.0200	0.0158	0.0097	0.0075	0.0056
	20～24歳	0.20	0.19	0.17	0.1617	0.1504	0.1234	0.0955	0.0843	0.0722
	25～29歳	0.66	0.56	0.45	0.4071	0.4075	0.3945	0.3486	0.3301	0.3162
	30～34歳	0.49	0.49	0.46	0.4216	0.4693	0.5147	0.4872	0.4712	0.4565
	35～39歳	0.11	0.14	0.17	0.1835	0.2322	0.2871	0.2674	0.2653	0.2610
	40～44歳	0.01	0.02	0.02	0.0246	0.0404	0.0547	0.0549	0.0584	0.0581
	45～49歳	0.00	0.00	0.00	0.0007	0.0010	0.0014	0.0017	0.0014	0.0017
全国	総数 (合計特殊出生率)	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.33	1.30	1.26

注1：数値は、5歳階級別の出生率を合計したものである。ただし、埼玉県の平成27年分、令和2年分と全国の数値は、各歳の年齢別出生率を合計したものである。

注2：算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

図-26 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）（埼玉県）



市町村別にみると、高率順では、美里町（1.32）、滑川町（1.27）、朝霞市（1.25）の順である。

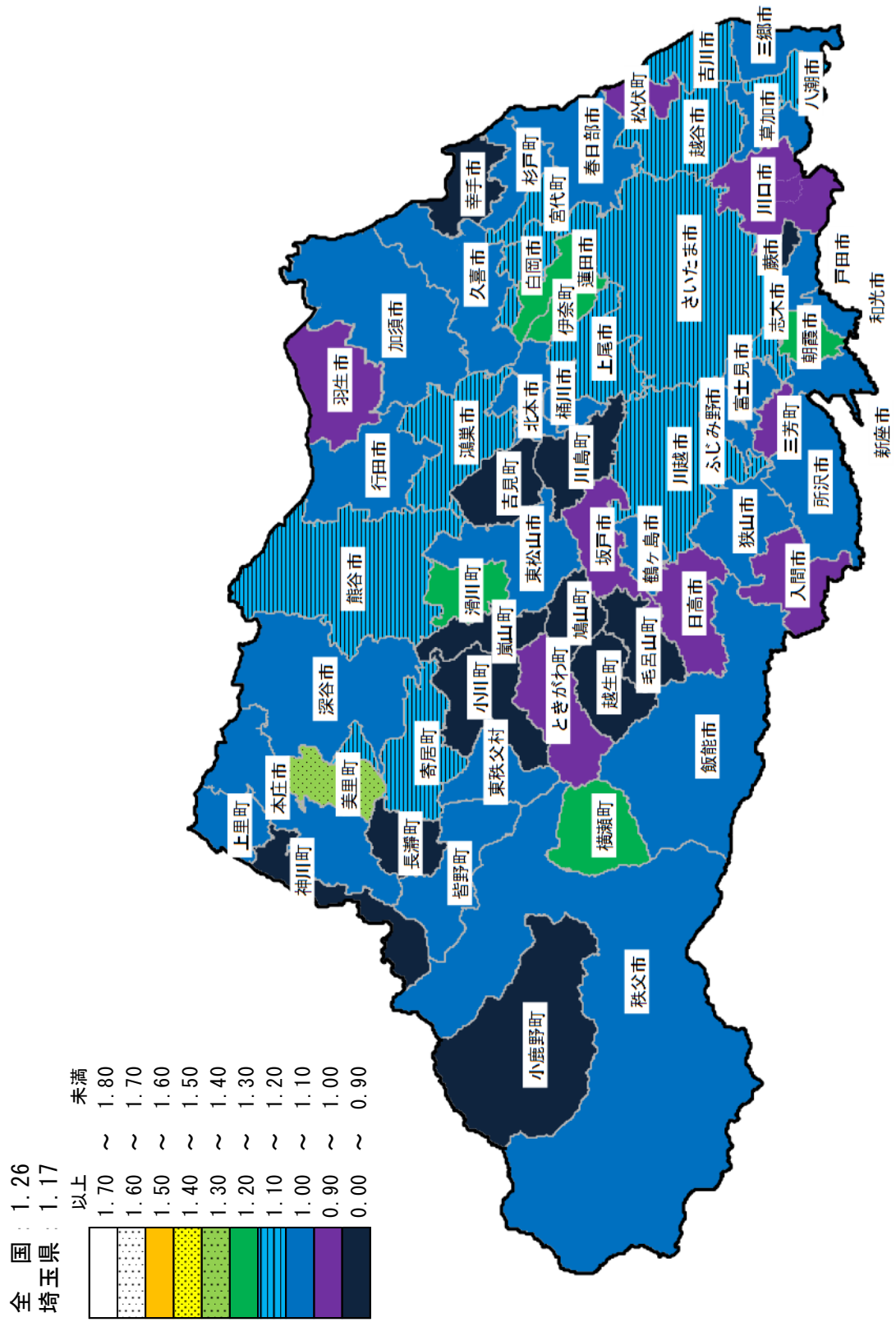
また、低率順では、長瀨町（0.52）、越生町（0.65）、鳩山町（0.65）の順である。（表－30、図－27）

表－30 市町村別にみた合計特殊出生率（高率順）

順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率
1	美里町	1.32	22	和光市	1.08	43	行田市	1.00
2	滑川町	1.27	23	所沢市	1.07	44	坂戸市	0.99
3	朝霞市	1.25	24	富士見市	1.06	45	入間市	0.99
4	伊奈町	1.22	25	戸田市	1.06	46	日高市	0.98
5	横瀬町	1.21	26	三郷市	1.06	47	松伏町	0.98
6	蓮田市	1.20	27	秩父市	1.06	48	川口市	0.97
7	八潮市	1.19	28	東松山市	1.05	49	羽生市	0.97
8	上尾市	1.19	29	本庄市	1.05	50	三芳町	0.96
9	白岡市	1.18	30	春日部市	1.04	51	ときがわ町	0.92
10	さいたま市	1.18	31	鶴ヶ島市	1.04	52	幸手市	0.87
11	越谷市	1.16	32	東秩父村	1.04	53	蕨市	0.84
12	志木市	1.15	33	ふじみ野市	1.04	54	嵐山町	0.83
13	宮代町	1.13	34	飯能市	1.04	55	小川町	0.82
14	寄居町	1.11	35	桶川市	1.04	56	川島町	0.78
15	吉川市	1.11	36	新座市	1.03	57	吉見町	0.71
16	鴻巣市	1.10	37	草加市	1.02	58	神川町	0.70
17	熊谷市	1.10	38	加須市	1.02	59	毛呂山町	0.68
18	川越市	1.10	39	皆野町	1.02	60	小鹿野町	0.66
19	狭山市	1.09	40	久喜市	1.01	61	鳩山町	0.65
20	北本市	1.09	41	杉戸町	1.01	62	越生町	0.65
21	深谷市	1.09	42	上里町	1.00	63	長瀨町	0.52

注1：順位の算出には、小数点第2位以下を考慮している。

図一27 合計特殊出生率—市町村別状況—



(空白ページ)